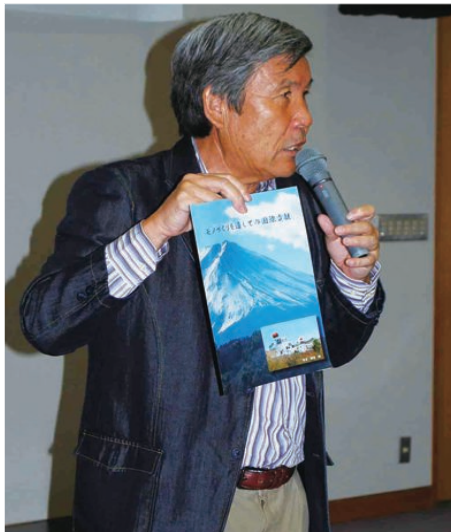


## カンボジア★デー

カンボジアの風を感じて



### CONTENTS

「山梨四川友好の森」で植樹をしてきました！	2
「やまなし YIA 国際塾」他	3
「JICA 通信」	4
Voice from Yamanashi, Abrigo de Emergência	5
Programação de Eventos, Cozinha Internacional	6
World Charity Christmas 2010, etc.	7
Voice from Yamanashi (山梨学院大学陸上競技部 コスマス選手)	8
Cooking @ Home メキシコ料理「チツレ・レイエーノ」	
Information	9
YIA Event Calendar	10

今なお地雷の被害に苦しむカンボジアにおいて地雷除去後の復興活動に取り組む農村開発局職員、NPO 法人「豊かな大地」現地職員、地雷除去センターの職員など3名をお招きして、10/24 (日)「カンボジア・デー」を開催しました。山梨日立建機の両宮社長が開発した重機により地雷が除去された大地の復興や住民の生活再建の様子等について、「豊かな大地」の取組みを通じて現状を紹介。併せて、久郷ボンナレットさんによるカンボジア舞踊とトーク、毎年カンボジアを訪れ、音楽を通じた支援に取り組む岩崎けんいちさんのトーク & ライブを通じて、参加した皆さんにまるごとカンボジアを体感していただきました。

No 「Camboja Day」 realizado no dia 24 de Outubro (Dom.), estiveram presentes 3 convidados cambojanos que trabalham em projetos de retirada de minas e desenvolvimento da região. A ONG "Terra Fértil", apresentou a situação atual e a reconstrução da vida da população local após a retirada das minas com a ajuda de uma máquina projetada pelo presidente da Hitachi Construction Machinery de Yamanashi, Sr. Amemiya. O público presente também teve a oportunidade de conhecer mais sobre realidade de Camboja por meio de um bate papo com a Sra. Ponnareth Kugo (natural de Camboja) que apresentou uma dança típica, e com o Sr. Kenichi Iwasaki que tocou algumas de suas músicas neste evento.

Yamanashi International Association held the event "Cambodia Day" on October the 24th. The association invited 3 guests who have been actively engaged in the reconstruction of lands after mine clearance in Cambodia, a country still suffering from land mine's injuries. At the event, the current conditions of the land reconstruction and the population resettlement in Cambodia after mine clearance operated using heavy machineries developed by Mr. Amemiya, the president of the Yamanashi Hitachi Construction Machinery, were presented along with the mine actions initiated by Good Earth Japan. Apart from that, participants were able to experience Cambodia through a dance performance, a speech by Ms. Kugo Ponnareth, as well as a Talk & Live session with Mr. Kenichi Iwasaki, a singer who visits Cambodia every year to show his support through music.



# 「山梨四川友好の森」で桜の植樹をしました！



記念植樹



記念植樹の式典



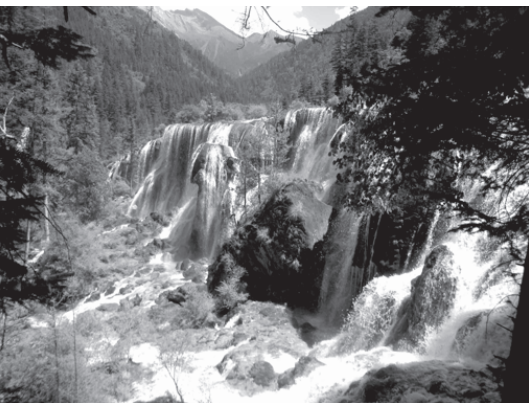
友好県省締結25周年記念式典



上海万博



「山梨四川友好の森」の記念碑



九寨溝（真珠灘瀑布）



記念祝賀会



成都・九寨溝・黄龍コース  
（北京経由）



成都・上海万博コース／成都・九寨溝・黄龍コース  
（上海経由）

山梨県と中国四川省が友好県省を締結して、今年で25周年を迎えました。

財団法人山梨県国際交流協会では、2008年5月に発生し未曾有の被害をもたらした四川大地震からの復興に懸命に取り組む四川省の人々の心を癒すとともに、早期復興と両県省の友好交流のシンボルとなることを願い、県民の皆様からのご寄付を原資として、山梨県、四川省政府とともに、再開発が進む都江堰市内の公園に桜の植樹を行い、「山梨四川友好の森」を整備することとしました。

そこで、当協会では、この主旨にご賛同いただく県民の皆様を対象に、両県省とともに実施する記念植樹や友好県省締結25周年を祝う記念式典、祝賀会等の公式行事にご参加いただくほか、上海万博への参加や四川省内の世界遺産の視察を目的として、友好県省締結25周年記念ツアーを企画し募集を行ったところ、61名の皆様にご参加をいただき、県民の皆様による訪問団を編成することとなりました。

8月3日、それぞれの思いを胸に、悠久の国、中国へと飛び立ち、同日のうちに四川省成都市に到着しました。

8月4日、午前8時、知事、県議会議長などの山梨県公式訪問団とともに、都江堰市向峨郷新市鎮の植樹会場へ向かいました。車窓からは、大地震で被災された人々のための避難者住宅は僅かに残る程度で、近代的な集合住宅がいたるところで建設されており、復興が着実に進んでいることが伺えました。

都江堰市向峨郷政府庁舎前の記念植樹の会場では、小学生を含む地元の人たちの盛大な拍手で迎えていただきました。

記念植樹の会場での式典では、四川省政府代表者が、山梨県民による支援に対する感謝の意を表され、横内知事からは、1日も早い復興を願うとともに、山梨県民の心のもった桜の木々が両県省の友好の絆として育まれていくことを期待する旨のあいさつがありました。

続いて、記念植樹のためにご寄付をいただいた方々のお名前が刻まれた記念碑の除幕式が出席者の盛大な拍手の中で行われました。

除幕後に行われた記念植樹では、訪問団の一人ひとりが地元住民や小学生と一緒に早期の復興と桜の苗木の立派な成長を祈りながら植樹を行い、両県省民の和やかな交流の場ともなりました。

夕方、訪問団の一行は、成都市内の錦江賓館において開催された友好県省締結25周年を祝う記念式典と記念祝賀会に参加し、四川省の方々との交流を深める機会となりました。

8月5日、この日から二つのグループに分かれ、話題の上海万博へ参加するグループは、都市の発展をテーマとする史上最大規模の万博に加え、同国最大の都市であり、経済、産業、交通などの中心都市でもある上海を視察してきました。

また、四川省内の世界遺産を視察するグループは、四川省が世界に誇る九寨溝や黄龍などの世界遺産のほか、成都パンダ繁殖基地を視察してきました。

3,000年とも4,000年ともいわれる壮大な歴史に培われた悠久の国、中国、経済大国として発展を遂げる中国を肌で感じるとともに、私たちを迎えてくれた四川省の人たちとの交流を深めることができた記念ツアーとなりました。

「山梨四川友好の森」での記念植樹のためにご寄付をいただきました皆様、友好県省締結25周年記念ツアーにご参加いただきました皆様、ご協力をありがとうございました。

## 訪問日程

- ◆ 成都・九寨溝・黄龍コース  
平成22年8月3日（火）～8月8日（日）
- ◆ 成都・上海万博コース  
平成22年8月3日（火）～8月7日（土）

世界各地で活躍した方々や、国際的な事柄に取り組んでいる方々を講師に迎え、世界の実状や課題についての理解を深めるとともに、国際感覚豊かな人材の育成を目的に、10月10日(日)よりオープンキャンパス「やまなしYIA国際塾」がスタートしました。

第1回目の講師として、JICA 広尾センターの貝原孝雄氏をお招きして、「アフガニスタンと緊急援助について」と題し、アフガニスタンの現状や現地での生活の様子や緊急援助の概要などをお話いただきました。

また、講義後には、山梨県立大学准教授の吉田均氏に指導をいただき、受講者の皆さんがグループ単位で行う自主研究について話し合いました。

第2回目には、「カンボジア・デー」のトーク&ディスカッションへの参加、第3回目には、渋谷区広尾にあるJICA 地球ひろばを訪問し、開発途上国の現状と世界の課題を体感しました。

★今後のスケジュール

- 12月 4日(土) ジェフ・バーグランド氏(京都外国語大学・大学院教授)
  - 12月 18日(土) エリック・ピーターソン氏(カナダ大使館一等書記官)
  - 1月 15日(土) 吉田 均氏(山梨県立大学 准教授)
- ※時間はいずれも 午後1時30分～ 会場：山梨県立国際交流センター



Open Campus

多文化共生事業  
「医療通訳ボランティアセミナー」

日本語での意思疎通が困難な外国人住民や外国人旅行者のために、医療機関等において通訳を行う「医療通訳」に関するセミナーを開催します。

「医療通訳の役割や心得」に加え、医療現場を想定したロールプレイングを導入し、より実践を重視した内容とします。

「医療現場での実践的メモ取り訓練 & ロールプレイ応用編」

日時 平成23年1月30日(日) 10:00～16:00  
 場所 山梨県立国際交流センター  
 講師 アビー・フリーウ 氏 (MIC かながわ医療通訳)  
 対象言語 英語、ポルトガル語、中国語、スペイン語  
 定員 各言語15名 受講無料

申込み/問合せ (財) 山梨県国際交流協会  
 tel. 055-228-5419 webmaster@yia.or.jp



「World Charity Christmas」

県内在住の外国人住民と交流を深めながら、恒例の「ワールド・チャリティ・クリスマス」を開催します。世界の料理、音楽、パフォーマンス等をお楽しみください。

「World Charity Christmas 2010」

日時 2010年12月11日(土) 10:30～16:30  
 場所 山梨県立国際交流センター

- 「第3回インターナショナルのど自慢」(要申込) 12:30～14:00
- 「ワールド・フード・コーナー」(有料) 12:00～14:00
- ★本場のブラジル、中国、韓国、タイ、台湾、アメリカ、フランス料理等!
- 「ワールド・チャリティ・クリスマス・ショー」14:00～16:30
- ★チャリティ抽選会 ★チャリティ・ライブ、クリスマス・ミュージカル
- ★その他、クリスマス・マーケット、クラフト、カンボジアの部屋等をお楽しみください。(10:30～16:30)

※収益金の一部は、カンボジアにおいて地雷除去後の地域の復興や住民の生活再建支援を行っているNPO法人「豊かな大地」へ寄付させていただきます。  
 ※新しい筆記用具(ノート、えんぴつ等)をカンボジアの子どもたちのために集めています。  
 12/11の当日、ご持参いただけますよう、ご協力お願いします。

問合せ (財) 山梨県国際交流協会 tel. 055-228-5419 webmaster@yia.or.jp

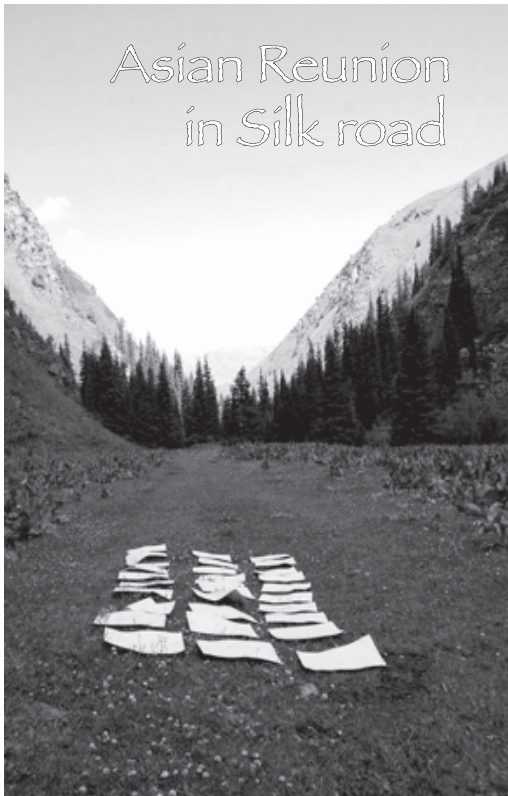


Charity Christmas  
参加費

大人 500円  
小中高生 300円  
未就学児童 無料

Merry Christmas!

# JICA 通信



Asian Reunion  
in Silk road

坂本 泉さんのアート作品



オアシス・プロジェクト



キルギスのアーティスト、ラハット氏と



テント生活の朝



ラハット氏の作品



遊牧民族

## 坂本 泉 (現代美術作家)

甲府市生まれ。  
1978年、女子美術大学産業デザイン科卒業。山梨県立美術館勤務、公立中学校美術科教諭。  
1991～94年、カリフォルニア州ロサンゼルス在住。世界各国の言語に触れ、芸術家と交流する。  
1994年～ 造形教室主宰、造形ワークショップ講師。

ARTIST IN RESIDENCE  
YAMANASHI [AIRY] 代表  
<http://air-y.net/>  
ギャラリー・エアリー  
〒400-0031  
山梨県甲府市丸の内2-3-7



## キルギスと 日本が再び出会った日



今回は、平成21年9月から青年海外協力隊、村落開発普及員としてキルギス共和国に派遣されている村松なぎささんより、お便りが届きました。

現在、「さおり織」をキルギスの女性たちに教え、現地の皆さんと一緒に商品化するお手助けをしているなぎささん。今年の夏は、キルギスと山梨のアーティストとの出会いがありました。

青空の下、天山の山々から轟々と流れる雪解け水に画用紙を浸し「いつも泉を求めて旅をするの。」と静かに言う...

山梨県在住の現代アーティスト坂本泉さんが7月23日の芸術祭に参加するため、キルギスにやってきました。

2010年が平成京遷都1300年目にあたることから、はるか昔、中央アジアはキルギスを通り奈良まで伝わった芸術文化が、時空を超えてどのような進化を遂げてきたのか、この夏、この芸術祭をきっかけに再び二つの国が出会うことになりました。

天山山脈の麓に3日間のテント生活、その大自然の中でアーティスト坂本 泉は制作を始まりました。

「泉」を求めて旅をする、海、川、田んぼの水に紙を浸し、太陽の光で紙にその水を記憶させる「オアシス project」-泉さんはこれまで訪れた場所で、それを作品として発表してきました。400本の銀と白の糸で作られたボズウイ(遊牧用テント)が二つ目の作品、村のボズウイを細かく研究し、展示に備えました。泉さんを連れ、任地アルシュ村に来てからは、彼女の切るカメラのシャッターを通して、彼女の発する言葉を受けて、私自身も違う一面から村を、人々を、風景を見つめることができました。生活の不便さの中にある本当の喜びや、人の温かさに触れ、素朴でたくましく生きるキルギスの人々の姿が心の中に色濃く残ります。忙しく複雑な現代社会に慣れてしまっている私たちが、どこかに忘れてきた大切なものがここにあります。山から下りる時、ふと見せた泉さんの涙が印象的でした。

7月23日は、泉さんの作品、協力隊員の活動先の作品展示(私が活動する織物組合「さおり」からは10枚のタペストリーを出展)、地元キルギス人の学生による和太鼓、協力隊員による琴演奏、ソーラン節、そしてキルギス人現代アーティスト、ラハットさんによるパフォーマンス・ペインティングが披露されました。ラハットさん力強いペインティングの中には、富士山、桜、手形、キルギスのボズウイが描かれているといえます。

和太鼓をキルギス人が叩き、横では日本人が琴を奏で、中央ではキルギス人が筆をとり描く、まるで夢のような瞬間でした。

アートの可能性を信じている、と何度も言っていた泉さんの言葉が心に残ります。

今回の芸術祭では、二つの国が再び出会い、確かにアートという魔法の力でもう一度お互いを見つめ直したように思います。そして、明るい未来を諦めることなく信じていける、そんな可能性を与えてくれました。夢が膨らむ7月でした。

### ◆◆「JICAボランティア帰国報告会」のお知らせ◆◆

山梨県出身のOB・OGの帰国報告会です。合わせて「教師海外研修2010」でラオスに行かれた方の報告もあります。JICAボランティアやどんな活動してきたのか、興味のある方、お友だちも誘ってお越しください。

日時 平成23年1月22日(土) 午後1時30分～  
ところ 県立国際交流センター

### JICA 山梨デスク 伊藤

〒400-0035 甲府市飯田二丁目2-2-3 (財) 山梨県国際交流協会内  
Tel. 055-228-5419 Fax. 055-228-5473 jicadpd-desk-yamanashiken@jica.go.jp  
JICA <http://www.jica.go.jp>



変わり行く四季折々の日本を旅するベストアワー

富士急  
グリーンツアー  
GREEN TOUR

価値ある旅 魅力ある旅を

快適な旅をお約束する

富士急トラベル

観光庁長官登録旅行業第101号

◇甲府支店 〒400-0031 甲府市丸の内2-35-4

TEL 055-228-1000 FAX 055-222-5010

上記店舗にご連絡下さい、「パンフレットの企画」、「個人・グループ・団体旅行の企画、ご相談」など弊社スタッフが様々なサポートをいたします。

世界の自然・文化・遺産によれる魅力いっぱいの海外ツアー

富士急  
ジョイフルツアー

# Programação de Eventos:



## World Charity Christmas

Festa de Natal Solidário!!! 11 de Dezembro

### Programação:



- Feira de artesanato
- Culinária Internacional, com pratos típicos de vários países (12:00 ~ 15:00).
- Concurso de Karakô
- Sorteio de Brindes
- Apresentações de música, entre outros

Data: 11 de Dezembro, 2010 (sáb.)

Horário: 10:30~16:30hs

Local: Centro Internacional de Yamanashi

Informações pelo telefone: 055-228-5419

\* Estaremos recolhendo material escolar e brinquedos. Os fundos e materiais arrecadados serão doados a Camboja.

\*\*\*\*\*

## Acontece em Yamanashi:

### Dezembro

**Início Dez.** Festival de Inverno /Festa da cenoura Ootsuka (Ichikawa Misatomachi)

**Início Dez. ~ início de Abr.** Resorte de Inverno Fujiten (Narusawamura)

**Dia 12** Competição de Trail running no Templo Takeda (Kofu)

**Dia 26** Mochitsuki em Doushi Keikoku (Doushi mura)

**Dia 31** Joya no Kane - Tradição no Japão (Tocar os enormes sinos dos templos desejando saúde e prosperidade para o ano novo)

\*\*\*\*\*

### COCINA MEXICANA

Realizado em 25 de setembro, organizamos uma tarde para conhecer um pouco da cultura do México e apreciar a riqueza da culinária mexicana. Rumi Ito, natural do México, nos apresentou seu país e suas peculiaridades com muito bom humor e nos ensinou a preparar alguns pratos típicos, começando pelo Chile Rellenos (pimenta chile recheado, aqui substituído por pequenos pimentões), guacamole (molho feito com abacate) e uma bela lemon pie (pavê de limão no Brasil) de sobremesa. Depois de suar para preparar os pratos, todos sentaram para conversar e comer. Estava uma delícia! Segue receita ao lado!



### Janeiro

**Dia 7** Festival do Pinheiro (Omatsubiiki) (Tabayama mura)

**Dia 9** Festa do Houtou (Doushin Keikoku)

**Meados de Jan. ~ final de Fev.** Festival de Fogos de Artifício / Kojou no Mai (Fuji Kawaguchiko)

**Dia 30** Dia do Isawa Onsen (Fuefuki-shi)

**Final de Jan. ~ começo de Fev.** Festival de árvores de gelo de Saiko (Fuji Kawaguchiko)



### Receita de Chile Rellenos

- 12 pimentões
- 04 ovos
- farinha
- palitos
- óleo

#### Recheio (picadillo):

- 1 cebola
- 1 batata
- 1 cenoura
- 250g de carne moída
- sal e pimenta a gosto (se quiser, 3 colheres de shoyu)

#### Molho (salsa):

- 2 tomates
- ¼ cebola picada
- 2 dentes de alho
- 1 xícara de molho de tomate
- 1 colher(chá) caldo de galinha



## International School day

16 de Janeiro, 2011

Venha praticar inglês e aprender sobre a cultura de outros países junto com professores de diferentes nacionalidades.

\*\*\*\*\*

Data: 16 de Janeiro, 2011. (sáb)

Horário: 10:00h ~ 16:00h

Vagas: 60 pessoas

\* Necessário fazer reserva com antecedência

Local: Centro Internacional de Yamanashi - Telefone: 055-228-5419

\*\*\*\*\*



## Seminário p/ Intérpretes Médicos

30 de Janeiro, 2011

Uma oportunidade de revisar o que foi aprendido e fazer uma abordagem prática de técnicas de interpretação da área médica. Será realizada simulação de casos, onde será ensinado a aplicação prática das técnicas de interpretação aprendidas.

『Técnicas de anotação para intérpretes da área médica e Simulação de casos』

Data: 30 de Janeiro, 2011. (dom.) 10:00h ~ 16:00h

Professor: Abbey Frew (Intérprete Médico da MIC Kanagawa)

Vagas: 15 vagas p/ cada idioma (inglês, chinês, português e espanhol)

\* Necessário fazer reserva com antecedência

Local: Centro Internacional de Yamanashi - Telefone: 055-228-5419

\*\*\* Gratuito \*\*\*

## Cozinha Internacional

modo de fazer:

asse o pimentão na boca do fogão para deixá-lo macio, coloque em um saquinho e reserve. Lave os pimentões e faça uma abertura na lateral para retirar as sementes. Recheie com o picadillo e feche a abertura com ajuda de palitos. o pimentão na farinha e depois no ovo e leve para fritar. Retire assim que começar a dourar. Em um prato coloque um pouco do molho e o pimentão frito por cima e sirva.

Para empanar, bata a clara bem firme e acrescente as gemas aos poucos. passe Descascar e picar a cebola, a batata e a cenoura e refogar em uma frigideira. Acrescente a carne e tempere com sal e pimenta a gosto (se quiser acrescente o shoyu). Tampe a frigideira e deixe cozinhar em fogo baixo por 5 ~ 10min. desligue o fogo e reserve.

(a) coloque no liquidificador o tomate (ferva o tomate para descascar), metade da cebola picada (reserve o resto), o alho e bata até virar uma pasta. Em uma frigideira, doure a cebola reservada e acrescente a pasta (a), o molho de tomate e o caldo de galinha dissolvido em água. Acrescente molho de pimenta a gosto. cozinhe até o molho engrossar

## Aulas gratuitas de japonês para estrangeiros

Aulas de japonês para estrangeiros residentes na província de Yamanashi .

Data: às sextas-feiras

Horário: das 19.00 às 21.00hs

Local: Centro Internacional de Yamanashi ( Kofu-shi, lida, 2-2-3 )

Informações pelo telefone: 055-228-5419

## Consultas e aconselhamentos jurídicos gratuitos

Serviços de consulta e aconselhamento sobre assuntos jurídicos ou diversos gratuito para estrangeiros residentes em Yamanashi .

Consultas: Primeira quarta-feira de cada mês. das 18.30hs às 21.00hs

Terceiro domingo de cada mês. das 13.00hs às 16.00hs

Local: Centro Internacional de Yamanashi (Kofu-shi, lida, 2-2-3)

Informações pelo telefone: 055-228-5419

\*\*\* Agendar as consultas\*\*\*

Esta é a segunda edição do Voice in Yamanashi, apresentando residentes estrangeiros que se destacam em Yamanashi. E nosso convidado é Ondiba Cosumas, atleta do departamento de atletismo da **Universidade Yamanashi Gakuin**.



**Nome: Ondiba Cosumas**  
 Nasc.: 13 de dezembro, 1989  
 País: Quênia, natural de Kisii  
 Atleta da Universidade Yamanashi Gakuin. Segundo lugar do grupo 3 no 86º Hakone Ekiden.

**A maratona "Hakone Ekiden" é um evento tradicional do Ano Novo no Japão. Em 2010 a Universidade Yamanashi Gakuin ficou com a terceira colocação nesta maratona, sendo grande a expectativa em relação ao atleta Cosumas, para o ano que vem. Aproveitamos esta oportunidade para perguntar a esse atleta sobre a vida em Yamanashi, Hakone Ekiden e seus planos para o futuro.**

**NY.** Você tinha 16 anos quando veio a Yamanashi. Como está sendo sua vida desde então?

**CO.** Foi muito difícil no começo, logo que cheguei. A comida, a língua, tudo era diferente e eu não entendia nada.

**NY.** Teve problema em relação a diferença cultural?

**CO.** A língua japonesa. Consegui superar isto em uns 7 meses, mas foi muito difícil. Conversava em japonês e inglês na classe de inglês, e fui aprendendo aos poucos e fazendo amizades.

**NY.** Em algum momento você sentiu um choque cultural no Japão?

**CO.** No Japão é comum famílias com crianças pequenas dormirem todos juntos no mesmo quarto. Foi um choque, para mim isto é algo muito estranho. Na Quênia, temos nossos momentos de lazer juntos, mas na hora de dormir, cada um vai para o seu quarto.

**NY.** Com certeza você precisou ultrapassar várias barreiras, tem alguma dica para nos dar?

O atleta Cosumas que nos concedeu esta entrevista com bom humor. É um Atleta que realmente tem convicção e faz o que mais gosta, correr. Tanto que seu desejo para o futuro, é poder continuar correndo. Apesar de ser uma pessoa reservada, percebemos o seu entusiasmo em participar do próximo Hakone Ekiden.

**CO.** Quando cheguei ao Japão ainda estava no ensino médio, nesta época os conselhos de meu professor ajudaram muito.

**NY.** Qual a sua comida preferida após 5 anos de Japão?

**CO.** Gosto de sushi e sashimi. Não gosto de natto (soja fermentada).

**NY.** Ano passado foi a primeira vez que participou do Hakone Ekiden, e ficou em 2º colocação em seu grupo. Como se sentiu?

**CO.** Fiquei frustrado. Tinha me machucado em novembro e não pude treinar o suficiente.

**NY.** Qual o seu objetivo para o ano que vem? Há as expectativas para o Hakone Ekiden?

**CO.** Meu objetivo é não perder para mim mesmo.

**NY.** Qual seu sonho para o futuro?

**CO.** Participar de competições e maratonas pelo mundo.

**NY.** Poderia deixar uma mensagem aos estrangeiros que residem no Japão?

**CO.** Viver em um país estrangeiro, independente de ser o Japão, é difícil. Mas seguindo as regras do país e tendo perseverança dá se um jeito.

**NY.** Ultimamente está na moda correr aqui no Japão. Tem alguma dica para dar aos praticantes?

**CO.** É importante a vontade de correr. Seu sentimento de querer correr.

\*\*\*\*\*

## Abrigos de Emergência (Hinanzo)

### Você sabe como funciona?

Simulações de abrigo de emergência são feitas para que as pessoas possam sentir como funcionam estes abrigos e possam ver quais os atendimentos encontrados, assim como dicas de como agir em casos de desastres naturais.

#### Por que participar de uma simulação de abrigo de emergência?

Yamanashi se encontra em uma região de risco, com grande probabilidade de sofrer terremotos de grande escala. Há a previsão de um grande terremoto, o Toukai deve atingir uma área que inclui a Província de Yamanashi dentro de um prazo de 20 anos. Portanto é importante se prevenir e saber como agir em caso de terremoto, conhecer procedimentos de segurança e saber onde se refugiar e conseguir ajuda.

#### Você sabia?

No abrigo estão disponíveis informações de interesse comum, como a situação das estradas, número de feridos, locais mais atingidos, Assim como há o fornecimento de refeições, atendimento a feridos, locais para banho, etc.

Voluntários cumprem papel de intérpretes para auxiliar estrangeiros, e no mural de informações, vários avisos estão escritos em língua estrangeira.

## Simulação de Abrigo de Emergência para residentes estrangeiros

Algumas vezes ao ano são realizadas simulações de abrigo de emergência, inclusive há simulações organizadas especialmente para residentes estrangeiros.

Participamos de uma simulação de abrigo organizado para os residentes estrangeiros, e não foi difícil perceber que a vida em um abrigo não é tão simples. Começando pela convivência de dezenas de pessoas em um mesmo ambiente, e a dificuldade de se organizar estas pessoas (percebemos a importância da realização de simulações para preparar as pessoas para um caso real).

Dentro do ginásio de esportes, mostraram vídeos e fotos com as conseqüências de um terremoto, e diferentes situações de risco após um terremoto. Foi realizado demonstrações de como montar os banheiros portáteis (e como usá-los) e um quarto improvisado com divisórias de papelão que pode ser utilizado, por exemplo, como sala de atendimento de emergência dentro dos Ginásios. Aula de

primeiros socorros utilizando objetos comuns, como macas improvisadas com cobertores.

Houve também demonstração de preparo do arroz Alfa (não precisa cozinhar, só acrescentar água), a degustação deste, com direito a sopa de missô.

É uma oportunidade não só para os estrangeiros, mas também para os voluntários intérpretes praticarem o que aprenderam em mini cursos para intérpretes voluntários. Sim, isto mesmo, estas pessoas preocupadas com o bem estar dos estrangeiros, participam de cursos preparatórios para poder atuar como intérpretes em abrigos de emergência. Mas infelizmente, apesar da presença de intérpretes de português, a presença de brasileiros foi pequena.

Os participantes também puderam experimentar a sensação de um terremoto de grande escala em um equipamento que simula terremotos. A experiência nos faz imaginar o que aconteceria se realmente um terremoto

### Esteja preparado

Na Província de Yamanashi, é provável que demore para chegar ajuda externa, devido ao relevo da região. Portanto é recomendável manter uma sacola com itens de emergência e mantimento para pelo menos 3 dias (incluindo água potável e mantimentos) em casa, de preferência um para cada pessoa, próximo a saída.

Não é difícil encontrar produtos para montar um kit de emergência nas lojas ou kits prontos. Só não esqueça verificar

o prazo de validade dos produtos periodicamente. Além dos itens ao lado (a direita foto de kit c/ 7 itens básicos de emergência que foram distribuídos durante a simulação realizada em julho), inclua no kit rádio portátil, pilhas de reserva, material para anotação e itens de valor (dinheiro e documentos). Provavelmente a comunicação também será afetada, neste caso, utilize serviços como o 『Disque 171 para recado de emergência』, que permite deixar recados telefônicos confirmando sua segurança.

#### Foram distribuídos 50 Kits de emergência

##### Kit de emergência c/ 7 itens

- sacola anti-inflamável
- lençol de alumínio
- par de luvas
- corda (3m)
- máscara com carvão ativado
- apito
- mini-lanterna



Simulador de terremoto



Demonstração de banheiros portáteis



Maca improvisada com cobertor



Demonstração (a esquerda) de como preparar arroz Alfa (foto acima), que só precisa acrescentar água (quente ou fria).

# YIA in English

## WORLD CHARITY CHRISTMAS 2010

Saturday, December 11th - 10:30 ~ 16:30 @ Yamanashi International Centre

Jingle bells, jingle bells, jingle all the way! Yamanashi International Association's traditional Christmas event, World Charity Christmas, is approaching.

This year, festivities will take place on Saturday, December 11th from 10:30 to 16:30 at the Yamanashi International Center. This year will be the occasion for the 3rd International Nodo Jiman Karaoke Contest! We also invite you to enjoy great food from around the world in one of the many stands offering dishes from all the continents.

Starting from 10:30, we invite you to discover the brand new attractions of the 2010 World Charity Christmas: on the 2nd floor of the center, enjoy a typical Christmas Market, as it is the tradition in countries such as Germany or France. Find original Christmas goods along with other things in a typical western Christmas atmosphere. Children can join the craft activity corner, in

order to make their own Christmas crafts and decorations. They will also be able to take pictures with Santa Claus who will come specially from North Pole to Yamanashi on that day! We suggest you to take a moment to watch the presentation of Christmas in other countries such as Brazil and France, with a picture display and games to test your knowledge.

In the afternoon, various artists will offer you a wonderful Christmas show, with performances such as a Jazz Session, piano performance, handbells and Japanese singer/song writer Kenichi Iwasaki\*. Furthermore, we invite you to watch the Christmas Play presented by foreigners living in Yamanashi, and to give you a chance to win great prizes at the Charity raffle.

All the proceeds gathered on the day will be sent to charity associations in Cambodia. We would also appreciate it if you bring unused stationary.



### PROGRAMME\*:

- 10h30~16h30: Christmas Market
- 10h30~16h30: Christmas Crafts
- 12h00~14h00: World Food Corner
- 12h30~14h00: 3rd International Nodo Jiman
- 14h00~16h30: World Charity Christmas Show (Raffle, Charity Live & Musical)

\*Subject to change

## La Cocina Mexicana - Report



The Yamanashi International Association is organizing throughout the year all kinds of International events, which are always a great opportunity for Japanese and foreign citizens of Yamanashi to meet up and enjoy

cultural exchange. This September was held for the first time a cooking event, "Let's Cook Mexican!", at Pure Sogo in Kofu.

35 people took part in this event. Rumi Breton, from Mexico, first gave a presentation about Mexican culture and food. After that, everybody cooked together the delicious menu thought up by Rumi, with dishes such as guacamole, chille Relleno, and lemon pie. Participants managed to make yummy dishes, chatting and laughing in a friendly atmosphere. Once all the food was done, everyone ate together around 6 tables, with people from many countries such as Brazil, Korea, the USA, France, etc...

This first try was a great success, and the Association is seriously thinking about organizing other cooking events, introducing delicious dishes from all over the world!



### VOICE from Yamanashi

## Yamanashi Gakuin University's star runner, Ondiba COSMAS

One of the New Year's main events in Japan is the two-day race Hakone Ekiden. In 2010, Yamanashi Gakuin University, representing our home prefecture of Yamanashi, managed to reach 3rd place overall. Strong expectations are placed on Cosmas to win first in next year's race. We asked him about his life in Yamanashi, his thoughts about the Ekiden, and his dreams for the future. : YIA; -You were 16 when you arrived in Yamanashi. How was your life in the prefecture at that time?

Cosmas: When I arrived in Yamanashi, it was pretty difficult. From the food to the language, it was full of different things that I didn't understand.

-Culturally speaking, what are the differences that caused you troubles?

C: First of all, the "language". I somehow managed to overcome this obstacle after around 7 months, but it was difficult. I also communicated using both English and Japanese in English class, and gradually made new friends.

-Did you face culture shock in Japan?

C: In Japanese houses with small children, everybody usually sleep in the same room. It seemed really strange to me and surprised me. In Kenya, we also have family circles, but we sleep in our own rooms.

-I'm sure you've overcome many obstacles. How did you manage to do it?

C: When I first came to Yamanashi, I was still in high school. The advice of my

teachers really helped me out.

-You've now been in Yamanashi for 5 years. Do you have any favorite foods?

C: I like raw fish-based sashimi and sushi. But I can't eat fermented soybeans.

-Last year, you participated for the first time to the Hakone Ekiden race and reached 2nd place. What was your impression?

C: I only felt regrets. I got injured in November last year, and therefore lacked practice.

-What are your goals for next year? People also expect you to participate to the Ekiden race, right?

C: I just don't want to lose to myself.

-What is your dream for the future?

C: I want to participate to a major international marathon.

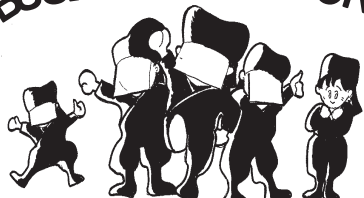
-Any message for other foreigners living and doing their best in Japan?

C: Not only Japan, but going to any foreign country is difficult. By following Japanese customs and having patience, you can get through difficulties.

-For the past years, Japan is experiencing a running boom, generating situations such as a congestion of runners around Tokyo Imperial Palace. Do you have any advice for running-lovers?

C: To always cherish the will to run. Having this determination is very important.

## ビジネスサポート BUSINESS SUPPORT



こんな時は私たちにご相談ください!!

ビザの延長や変更の手続きは? 国際結婚の手続きは? 永住/帰化の手続きは?

Consult us about...

- renewal VISA • changing of status of residence • an international marriage
- naturalization • permanent residence

We are helping for foreigners to apply for all kind of VASA.

ビジネスサポート行政書士事務所 (申請取次行政書士 藤原 進)

〒409-3867 山梨県中巨摩郡昭和町清水新居 1666 TEL:055-233-0211

営業時間 08:30~18:30 (土、日、祝日は休業)



オンディバ・コスマス

1989年、アフリカ・ケニア キシイに生まれる。  
 10歳の頃から走り始め、ケニアの陸上養成校にいた頃、スカウトの目に留まり、2005年春、16歳で来県。  
 2010年第86回箱根駅伝の第3区走者として、区間2位。山梨学院大学は、総合成績3位となる。

正月の恒例行事の一つ、箱根駅伝。

2010年は、地元山梨の山梨学院大学が総合第3位の成績をおさめました。2011年の箱根駅伝総合優勝に向け、コスマス選手に熱い期待が寄せられています。山梨での生活、駅伝への思い、将来の夢などを伺いました。

■ 来県した時は16歳でした。当時を振り返って山梨での生活はいかがでしたか？

C: 来県直後は、とにかく大変でした。食べ物もことばも、とにかくすべてが違うのでさっぱりわからず、大変でした。

■ 文化の違いで困ったことは？

C: とにかく「ことば」。7ヶ月ほどで何とか克服はしましたが、大変でした。英語のクラスの中で、英語と日本語でコミュニケーションを取りながら、徐々に友達もできました。

■ 日本でカルチャーショックを感じたことは？

C: 日本で小さな子どもがいる家庭では、みんなで同じ部屋で眠るというのが一般的ですね。私にはとても不思議だし、びっくりしました。ケニアでは、家族団らんはありますが、寝る時はそれぞれの部屋に行きますから。

■ さまざまな壁を克服してきたと思いますが、攻略法は？

C: 来県した時は、高校生でした。先生からのアドバイスに助けられました。

■ 来日して5年。日本食で好きなものは？

C: 刺身やお寿司が好きです。でも納豆はダメです。

■ 昨年初めての箱根駅伝。区間2位でしたね。

いかがでしたか？

C: たくやしいです。昨年の11月に怪我をして、練習不足でした。

■ 来年の目標は？箱根駅伝も期待されていますね。

C: 自分に負けないことです。

■ 将来の夢は？

C: 世界でメジャーなフルマラソンに出たいです。

■ 日本で頑張ってる外国籍住民の皆さんへメッセージをお願いします。

C: 日本に限らずどの国に行っても大変です。マナーを守り、忍耐力があれば乗り切れると思います。

■ ここ数年、日本はランニング・ブーム。皇居周辺はランナーで渋滞しているとか。ランニング愛好家の皆さんに何かアドバイスがありますか？

C: 「走りたい」という気持ちを大切に。そう思う自分の意志が大切です。

終止にこやかにインタビューに応じてくれたコスマス選手。とにかく「走ること」が大好き。多くを語らずとも、来年の箱根駅伝にかける意気込みは相当なものを感じました。

年齢を重ね、ケニアに戻っても、ずっと走り続けていたいとするコスマス選手は、芯の強さを持った真のアスリートそのものでした。

## クッキング@ホーム



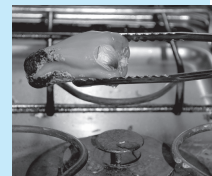
ブレトン伊藤みさんは、メキシコ・モレロス出身。

今年5月末、山梨県海外技術研修員として、山梨へやってきました。現在、湯田高校で音楽教育に携わっています。趣味は、絵を描くこと、音楽、料理。

山梨での一番の思い出は、富士登山。山頂から下に広がる美しい雲海が忘れられないと語るみさん。

### メキシコ料理「チッレレイエーノ」 材料(約6人分)

- |                       |                     |
|-----------------------|---------------------|
| ピーマン (丸ごと火であぶる) ・ 12個 | 玉ねぎ ・ 1/4個と1/5個     |
| 中味                    | にんにく ・ 2片           |
| 玉ねぎ、人参(細の目切り) ・ 1/2個  | 鶏ガラスープの素(顆粒) ・ 大さじ1 |
| じゃがいも(細の目切り) ・ 大1個    | トマトソース(パック) ・ 300g  |
| ひき肉(合挽き) ・ 300g       | 水 ・ 50~60cc         |
| しょうゆ ・ 大さじ3強          | ころも+etc.            |
| 塩、こしょう ・ 少々           | 卵(白身と黄身を分けておく) ・ 4個 |
| サルサ(ソース)              | 小麦粉 ・ 少々            |
| トマト(湯むきしておく) ・ 2個     | ようじ ・ 12本           |
|                       | 油 ・ 300cc           |



### 作り方

- 少し焦げ目がつく程度にあぶったピーマンをポリ袋に入れ、5.6分ほど蒸らす。水洗いし、回りの焦げ目を洗い流す。縦に切れ目を入れ、種を取り除いて中をきれいにしておく。
- フライパンに油を入れ、玉ねぎを炒める。しんなりしてきたところで、ひき肉を加え軽く炒め、じゃがいも、人参を加える。しょうゆ、塩、こしょうをしてふたをし、野菜に火が通るまで弱火で10~15分ほどを煮込む。
- ミキサーの中へ玉ねぎ1/4、トマト、にんにく、水を加えて混ぜ合わせておく。フライパンに油を入れ、みじんきりにした玉ねぎ1/5を白っぽくなるまで炒め、混ぜ合わ

伝えたいをカタチにする一滴

<http://www.ozp.jp>



出版 印刷 紙工

有限会社 オズプリンティング

☎ 055-235-6010(代)

〒400-0032 甲府市中央3丁目8-10 FAX:055-232-4098 E-mail: info@ozp.jp

# Information

NEW!

## 山梨県内の外国人登録者数 (平成 21.12 月末現在)

法務省入国管理局より、最新の「外国人登録者数」が発表となりました。

1	ブラジル	4,318	28	ニュージーランド	11	55	ジンバブエ	2
2	中国	3,972	29	ラオス	8	56	カンボジア	2
3	韓国・朝鮮	2,536	30	イタリア	8	57	ガーナ	2
4	フィリピン	2,010	31	トルコ	7	58	オランダ	2
5	ペルー	1,055	32	チリ	7	59	ウルグアイ	2
6	タイ	739	33	セネガル	7	60	アフガニスタン	2
7	インド	305	34	アイルランド	7	61	ホンジュラス	1
8	米国	275	35	メキシコ	6	62	ブルキナファソ	1
9	ベトナム	195	36	ポルトガル	6	63	フィンランド	1
10	インドネシア	194	37	ベネズエラ	6	64	フィジー	1
11	スリランカ	81	38	ルーマニア	5	65	トリニダード・トバゴ	1
12	マレーシア	80	39	スイス	5	66	トーゴ	1
13	モンゴル	76	40	ジャマイカ	5	67	スリナム	1
14	英国	70	41	スペイン	4	68	サウジアラビア	1
15	イラン	67	42	シンガポール	4	69	コスタリカ	1
16	ボリビア	64	43	ケニア	4	70	グアテマラ	1
17	ネパール	64	44	エジプト	4	71	キューバ	1
18	オーストラリア	49	45	モロッコ	3	72	キプロス	1
19	カナダ	44	46	ミャンマー	3	73	オーストリア	1
20	バングラデシュ	29	47	ポーランド	3	74	エルサルバドル	1
21	パラグアイ	29	48	ナイジェリア	3	75	ウズベキスタン	1
22	フランス	28	49	チェコ	3	76	ウガンダ	1
23	コロンビア	27	50	スウェーデン	3	77	アルバニア	1
24	パキスタン	22	51	エチオピア	3	78	無国籍	1.2
25	ドイツ	19	52	ウクライナ	3	79		
26	ロシア	18	53	イラク	3	80		
27	アルゼンチン	18	54	ベルギー	2		合計	16,558

平成 22 年 7 月 7 日 公表 法務省登録外国人統計表より

※【市別外国人登録者数】【山梨県内の外国人登録者数の推移】は、国際交流協会 HP をご覧下さい。 [www.yia.or.jp](http://www.yia.or.jp)

## 20th anniversary

### 財団法人山梨県国際交流協会設立 20 周年記念式典

当協会は、平成 2 年 9 月 30 日に設立され、今年が設立 20 周年の記念すべき年となるため、基調講演を含む記念式典を行います。

と き 平成 23 年 3 月 13 日 (日)

ところ 甲府富士屋ホテル (甲府市湯村)

内容 ■ 国際理解講演会

講師：手嶋 龍一氏 (外交ジャーナリスト、元 NHK) ※予定

入場無料

■ 記念式典

問合せ (財) 山梨県国際交流協会 tel.055-228-5419

## 『FREE NIHONGO \* 日本語講座 (無料)』

どなたでも気軽に参加できる日本語講座です。

■ と き 毎週金曜日 午後 7 時～9 時

■ と ころ 県国際交流センター

■ 問合せ (財) 山梨県国際交流協会 Tel. 055-228-5419

### Aulas gratuitas de japonês

Todas as sextas-feiras, das 19h às 21h.

Local: Centro Internacional de Yamanashi

Informações Associação Internacional de Yamanashi (055-2285419)

### Japanese Language Class

Time: Every Friday night, 19:00~21:00

Location: Yamanashi International Centre.

Contact : Yamanashi International Association tel. 055-228-5419

## 『SODAN \* 外国人なんでも相談』



と き 第 1 水曜日 午後 6 時 30 分～9 時 / 第 3 日曜日 午後 1 時～4 時

ところ 県国際交流センター

相談員 法律専門家 草野 類氏、金 亮完氏 (通訳 林ジョニー氏)

言語 ポルトガル語、スペイン語、英語、インドネシア語、日本語

※必要に応じてその他の言語対応可

費用 無料

問合せ (財) 山梨県国際交流協会 tel.055-228-5419

## Consultas e aconselhamentos jurídicos gratuitos às quartas-feiras e aos domingos.

(com reservas antecipadas)

As quartas-feiras: toda primeira quarta-feira do mês. Das 18h30 às 21h.

Aos domingos: todo terceiro domingo do mês. Das 13h às 16h.

Local: Yamanashi International Center (Kofu-shi, Iida 2-2-3)

Advogado: Rui Kusano / Yangwhan Kim (Professores de direito da Universidade Yamanashi Gakuin)

Intérprete: Johny Hayashi (Português, espanhol, bahasa, inglês e japonês).

※ Dependendo das necessidade do consulente, providenciaremos intérpretes para outros idiomas na medida do possível.

Informações Associação Internacional de Yamanashi (055-228-5419)

## Free Legal Consultation for Foreigners

When: Every first Wednesday night of the month. From 6:30 pm to 9 pm.

and every third Sunday afternoon of the month. From 1 pm to 4 pm.

Where: Yamanashi International Centre.

Consultant: Johny Hayashi.

The consultation is available in English, Indonesian, Portuguese, Spanish and Japanese. The service is FREE OF CHARGE.

\* Mr. Hayashi is accompanied by other legal professionals.

Contact : Yamanashi International Association tel. 055-228-5419

## 国際交流センターをご利用下さい

国際交流センター会議室の貸し出しを行っています。  
会議室使用料

	午前	午後	夜	全日	超過料金
	9:00a.m. } 12:00a.m.	1:00p.m. } 5:00p.m.	6:00p.m. } 9:00p.m.	9:00a.m. } 9:00p.m.	1時間 Per hour
大会議室 Large Conference Room	2,200円	3,310円	3,310円	8,830円	730円
小会議室 Meeting Room	720円	1,100円	1,100円	2,910円	240円

## 会員登録をありがとうございました!



### 個人会員

8月～10月 7名

### 団体会員 (入会順・敬称略)

8月 日中交流情報センター 山梨ラオス友好協会 ライブ日本語

9月 昭和町国際交流を進める会 山梨日本語ボランティアの会

10月 山梨台湾総会 ハイチ友の会

# YIA Event Calendar

## 12月

### 「ワールド・チャリティ・クリスマス」

恒例のチャリティ・クリスマス！  
クリスマス・マーケット、クラフト、インターナショナルの自慢、クリスマス・ミュージカル等、さまざまな催しをお楽しみください。収益金の一部は、カンボジアで地雷除去後の生活再建や地域復興を行っているNPO法人「豊かな大地」へ寄付させていただきます。

とき 12月11日(土) 午前10時30分～午後4時30分  
ところ 県立国際交流センター

参加費 大人500円

小中高生300円(未就学児童無料)

### オープン・キャンパス「やまなしYIA国際塾」

世界各地で活躍した方々や国際的な事柄に取り組んでいる方々を講師に迎え、世界の事情や課題について理解を深めます。

※今後のスケジュールは、3ページをご覧ください。

### 県内在住外国人の暮らしを考える意見交換会

テーマ 「山梨県に住む外国籍住民、母子保健の現状」  
～やまなし国際保健支援ネットワーク(YIHNS)の活動から見えてきたもの～

とき 12月17日(日) 午後1時30分～午後4時  
現状報告 長坂香織氏

(山梨県立大学看護学部外国語領域准教授)

## 1月

### 医療通訳ボランティアセミナー

#### 「医療現場での実践的メモ取り訓練 & ロールプレイ応用編」

「医療通訳の役割や心得」に加え、医療現場を想定したロールプレイングを導入し、より実践を重視したセミナーです。

とき 1月30日(日) 午前10時～午後4時

講師 アビー・フリーウ氏(MICかながわ医療通訳)

ところ 県立国際交流センター

申込み 専用申込書でお申込みください。

### 「インターナショナル・スクール・デイ」

多彩な講師を迎え、さまざまなテーマのもと英語で授業を行います。国際交流センターでの一日留学、楽しい授業を体験してください！

とき 1月16日(日) 午前10時～午後4時

ところ 県立国際交流センター

定員 60名 参加費 1,000円(ランチ付)

対象 英検2級程度の英語力のある方

## Dezembro

### World Charity Christmas 2010 - Natal Solidário

Acontecerá em dezembro, a tradicional festa de Natal Solidário da YIA. Este ano teremos além de diversos pratos internacionais e apresentações de música e dança, uma feira de artesanato, concurso de karaokê e sorteio de brindes. Os

fundos arrecadados serão doados para Camboja.  
Data: Dia 11 de Dezembro, 2010 (Sab.).

10:30h~16:30h

Local: Centro Internacional de Yamanashi

Entrada: Adulto 500 ienes Estudante 300 ienes  
(crianças até 6 anos não pagam)

## Janeiro

**Yamanashi International School Day**  
Uma oportunidade para praticar inglês e ao mesmo tempo aprender sobre a cultura de diferentes países.

Data: Dia 16 de Janeiro, 2010 (Dom.).

10:30h~16:00h

Local: Centro Internacional de Yamanashi

Taxa: 1000 ienes (almoço incluso)

Vagas: 60 pessoas (necessário reservar c/ antecedência)

## December

### World Charity Christmas 2010

The traditional YIA World Charity Christmas is an event held with the support of foreign residents in Yamanashi. There are various performances and foods for everyone to enjoy. Let's spread the spirit of love and make a difference in the life of a child. Please come along with your family, friends, and make this a good day out!

Time: Saturday, December 11th. 10:30-16:30  
Location: Yamanashi International Centre  
Entrance Fee: Adults: 500 Yen, Students: 300 Yen, Under elementary school: FREE

Time: Saturday, December 11th. 10:30-16:30  
Location: Yamanashi International Centre  
Entrance Fee: Adults: 500 Yen, Students: 300 Yen, Under elementary school: FREE

## January

### Yamanashi International School Day SPEAK UP USING YOUR ENGLISH!

It's time to brush up your English!

Four teachers from all around the world are ready to offer you the most innovative and fascinating lessons. So why not come along and learn the different aspects about foreign cultures with us!

Time: Sunday, January 16th. 10:00-16:00

Location: Yamanashi International Centre

Tuition Fee: 1,000 Yen (Lunch included)

Capacity: 60 people (Reservation required)

### Medical Interpretation Volunteerism Seminar

#### ~Medical Interpretation & Application of Role Plays~

Participants will learn the duties of medical interpretation, and how to get prepared for it. Role plays will take place, recreating real life scenarios in medical centers.

Time: Sunday, January 30th. 10:00-16:00

Teacher: Mr. Abbey Frew from MIC Kanagawa

Location: Yamanashi International Centre

Application: Please use the dedicated application form



## 編集後記

天高く馬肥ゆる10月、カンボジアから3人組がやってきました。所属は違うものの地雷除去後の復興活動に奮闘し、協力し合っている仲間たち。気さくで、温かくて、いつも感謝の気持ちを笑顔いっぱいに表示し、山梨での貴重な体験をカンボジアの人々に伝えたいと目を潤ませながら話してくれたのが印象的でした。

そんな彼らは、心やさしき愛妻家。妻たちから託された洗顔フォームやコスメの容器を片手に、ドラッグストア内を駆け巡り、大量購入の大人買い。家庭円満、夫婦円満の秘訣は、どこに行ってもやっぱり地道な努力から。愛は強し! 雨宮♥

Ajá está chegando o inverno, com o vento frio e a neve. Para nativos de países tropicais (neste caso eu...rs) é uma época ao mesmo tempo divertido e triste. Triste porque o frio desanima para sair de casa, e divertido porque podemos curtir a neve (raro no Brasil) e praticar esportes de inverno! (será que consigo ir esquiar este ano?!) Sem contar que está chegando o Natal e o Ano Novo!!! Boas Festas!

\*\*\* Cristina \*\*\*

### Differences of Daytime between France and Japan

As winter is approaching, everybody has obviously realized that days have become shorter. It is same in France, where the length of daytime is extremely different between summer and winter. In both countries, the longest day is the 21st of June (the Music Day in France), but in France the daytime goes from 5:47 to 21:58 (for 16 hours 11 minutes), whereas in Japan it goes from 4:25 to 19:00 (for 14 hours 35 minutes). In winter, the daytime goes from 8:42 to 16:57 in France (for 8 hours 15 minutes), while it goes from 6:47 to 16:32 in Japan (for 9 hours 44 minutes). This difference explains many puzzles, such as why French people eat and go to bed later than Japanese people do, and why they find winter really depressing but enjoy summer a lot. I find it really fascinating how culture can be so strongly influenced by such factors as daytime. Victor

## Yamanashi

### 2010年12月・2011年1月・2月号

- 発行 財団法人山梨県国際交流協会
- 編集 雨宮由里恵 真砂クリスチーナ ヴィクトール・バルザン

- イラスト 松岡瑠理子

- Published by

Yamanashi International Association

- Edited by

Yurie Amemiya Cristina Masago Victor Balsan

- Illustrated by

Ruriko Matsuoka



〒400-0035 甲府市飯田2-2-3

tel 055-228-5419 fax 055-228-5473

2-2-3 Iida, Kofu-Shi, Yamanashi-ken,

Japan 400-0035

The International Centre is open daily from 9:00am to 9:00pm except on Mondays and on the day following a national holiday.

URL [www.yia.or.jp](http://www.yia.or.jp)

MAIL [webmaster@yia.or.jp](mailto:webmaster@yia.or.jp)

